

■開催件数による国際会議ランキング※1の実績

	ICCA(国際会議協会) 国際会議統計(2024年5月公表)		JNTO(日本政府観光局) 国際会議統計(2024年12月公表)
	2023年実績(21件) <9件>	指標【第1期】※2	2023年実績(51件) <21件>
アジア・大洋州地域	22位相当 <28位相当>	10位以内	—
世界	111位相当 <202位相当>	30位以内	—
国内	3位相当 <6位相当>	—	8位相当 <7位相当>

※1 件数は大阪府域の開催件数を各ランキングに当てはめたもの、
< >は、2022年実績

※2 誘致戦略では、取組期間(10年)を第1期(2023～2027年度)、
第2期(2028～2032年度)に分け、各期で指標を設定

■取組みの状況(主な取組み実績)

大阪府・大阪市は、大阪観光局やMICE関連事業者などMICE誘致に係る関係機関とともに取組みを実施。

戦略で掲げる「具体的な施策展開」項目	取組み内容	
①MICE誘致・開催支援の強化	「万博を契機としたOSAKA国際会議助成金」の創設(6月)	大阪府・大阪市による国際会議の誘致・開催経費の助成
②情報発信・誘致プロモーションの強化	「Japan MICE EXPO」実行委員会の立ち上げ	MICEの情報・サービスを一堂に集めた展示会の大阪開催に向けた組織
	「SDGs for MICE評価制度」の運用	持続可能なMICE開催を啓発するための制度(申請4件)
	「IMEX Frankfurt 2023」への出展(5月)	欧州最大級のMICE専門見本市
④マーケティング・リサーチ機能の強化	「Team OSAKA MICE」による誘致活動	大阪のMICE関連事業者による合同チーム(大阪開催決定6件)
⑤エリアMICEによる受入れ環境整備、 施設連携の強化	「DMO大阪梅田」の設立(10月)	エリアMICEで誘致・受入に取り組む組織(設立時会員:34施設・団体)
	「大阪MICEビジネス・アライアンスセミナー」の開催	MICE関連事業者のネットワーク構築を目的として開催(3回)
⑥アフターMICEの充実	「Tech Tours Kansai」の開設(9月)	産業視察・インセンティブツアー専用のプラットフォーム
	MICE主催者への開催支援メニューの拡充	「大阪MICEカタログ」による紹介(物的支援メニュー5件追加)
⑦MICE人材の確保・育成	「大阪MICEアカデミー」の開催	MICE人材の育成を目的として開催(6回)

※「③MICE施設の競争力強化」、「⑧MICE効果の地域への波及、還元」の記載がないのは、各施策展開項目を取組期間の中で、優先順位をつけながら実施することとしているため。

■実績を踏まえた施策展開

指標の達成に向け、プロモーション活動強化や支援制度の拡充などの施策を展開していく。

- MICE開催都市としての大阪のプレゼンス向上を図るため、引き続きMICEに関連する国内外の見本市・展示会において情報発信を行うとともに、大学への訪問等を通じた学会主催者との関係強化、Team OSAKA MICEによる誘致活動の継続など、積極的なプロモーション活動に取り組む。
- また、万博開催後も見据え、誘致戦略の取組期間に基づく長期的な視点に立った新たな支援制度の創設に向けた検討を行う。